

学校法人 加計学園  
平成18年度事業報告  
【岡山理科大学附属中学校】

## I. 事業の概要（全般）

開校5年目を迎えて、第5期生34名が入学しました。入学者が伸び悩み傾向にあることから、これに歯止めをかけ、増加させるために、

- 1) 対策ワーキンググループを編成し、入試広報活動を計画的に進めました。
- 2) 大学進学実績がない現在、全国模試や各種検定試験指導に力を入れ、実績を広報に活用しました。
- 3) 課外活動（部活動・委員会活動）について、岡山シーガルズの支援のもとに女子バレー部を発足させることとなり、広報活動を強化しました。

その結果、平成19年度入試では、志願者数170名と18年度と比較して約3割の増加を達成しました。しかしながら、入学者については、35名と1名増加したものの、依然として、入学定員80名に対して入学者数が低位にあるのが現状であります。

そのほか、第3期生29名が義務教育課程を修了し、うち18名がそのまま中高六年一貫コースの高校に、2名が附属高校理大コースと特進コース、1名が附属高校通信制課程に進学しました。

## II. 学校の概要

### 1. 生徒の定員現員数

（平成18年5月1日現在）

	定員数		現員数			
	入学定員	収容定員	1年	2年	3年	合計
岡山理科大学附属中学校	80	240	34	23	31	88

（単位：人）

### 2. 学年暦

	学年始休業	入学式	夏季休業	冬季休業	学年末休業	修了式
岡山理科大学附属中学校	4月1日 ～4月7日	4月9日	7月20日 ～8月31日	12月25日～ 1月7日	3月21日 ～3月31日	3月17日

### Ⅲ. 各事業の概要

#### 1. 教育活動の進捗状況

中高六年一貫コースの目標として、全国難関大学や医歯薬学系大学への進学を目指していますので、六年の課程を前倒しで進めるとともに、全国模試や各種検定試験指導を強化しました。全国模試や各種検定とともに、一学年上のレベルに挑戦させ高い実績を得ました。数学検定では、中学3年生のうち1人が2級、10人が準2級（高校中級レベル）に合格しました。同様に、英語検定では1人が2級、3人が準2級、漢字検定では2人が2級、4人が準2級に合格しました。

6月に3年生がオーストラリアに海外研修旅行に行き、ファームステイも体験して文化の違い等を学んで帰国しました。また、1年生は倉敷芸術科学大学で陶芸、ガラス工芸、染色実習を、2年生は倉敷芸術科学大学専門学校で調理実習を行いました。

部活動においても、空手部やスキー部が、全国大会出場を果たしました。また、ノートルダム杯レシテーションコンテスト（暗唱コンテスト）でも2年連続優勝を達成しました。

入学者数・卒業者数等は下表のとおりです。

入学者数一覧 (平成18年5月1日現在)

	入学者	留学者	
		留学生	社会人
岡山理科大学附属中学校	34		

(単位：人)

卒業者数等一覧

	卒業 者	修了 者	退 学 者	除 籍 者	休 学 者	留 年 者
岡山理科大学附属中学校	29					

(単位：人)

#### 2. 生徒の募集・広報

岡山市、倉敷市、相生市、姫路市を中心に塾訪問及び小学校訪問を行いました。6月、7月、8月、9月、10月、11月にそれぞれオープンスクール及び入試説明会を行いました。8月に塾対象で理科実験教室を理科室にて4回行いました。(約120名)

### 3. 財務関係

#### 主な収入及び支出

(単位：千円)

年 度 科 目	17年度決算額	18年度決算額
学 納 金 収 入	46,361	48,373
補 助 金 収 入	48,331	48,485
そ の 他 収 入	1,824	2,326
帰 属 収 入 合 計	96,516	99,184
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 1,633	△ 754
消 費 収 入 の 部 合 計	94,883	98,430
人 件 費	123,060	128,673
教 育 研 究 経 費	32,201	30,185
管 理 経 費	11,521	11,849
そ の 他 支 出	0	0
消 費 支 出 の 部 合 計	166,782	170,707

#### ○収支改善対策の具体的取組と効果

来年度以降も、志願者数、入学者数の確保が急務となっております。広報活動の強化により、志願者増に繋がりましたが、入学者数は、若干の増加にとどまり入学者数増加のためには、歩留まり率の向上が今後の課題といえます。人件費の伸びをわずかながら抑え経費の削減にも努めましたが、入学者数が定員を下回っているため、より一層の入学者の確保に努めます。